

定價
一
角

江城日誌

第三



西垣文庫
文庫 10
7291
3



特 文庫10
7291
3

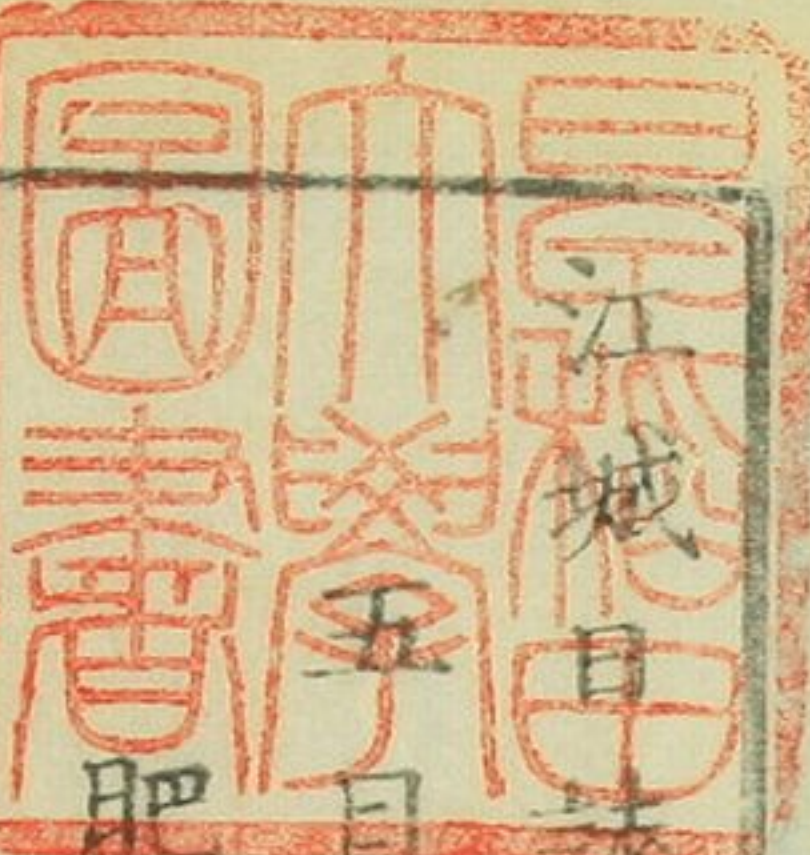
官板

紅城五
百餘層

江城日記第三號

慶應四戊辰年五月十三日

西頭文庫



五月八日

肥前より御届之寫

昨日弊藩先鋒人數野州繰込兵隊之内士分
二人痛所^{イロ}有之^ト行軍^ニ相後^ニ暮六ツ時頃上野
北大門町^ト駕籠^ノ小^ク通行^ス候^ニ候^ニ候^ニ者^ニ
哉八十人計仕掛^ニ無^ク体^ニ切^ニ掛^ニ候^ニ付^テ不得^ル止^ム
及^テ抜^ク合^ニ候^ニ得^ル共^ニ何^ノ分^ノ人^ノ少^ク不^レ及^ク力^ニ壹^ニ人^ノハ^テ殺^ス
害^ニ逢^フ壹^ニ人^ノハ^テ深^ク手^ノ負^ク同^ニ夜^ニ五^ツ時^ノ半^ノ頃^ニ弊^ノ邸^ニ罷^リ歸^ル
右之段先鋒宿陣所江申通候^ニ一隊^ノ甚^ク憤^ル怒^ル

生卜堪兼居候ニ付相手方之々御召捕被下
候哉無左候レ此方一手レ以及返戰候勢ニ付
先以此段不取敢御届仕候以上

五月八日

肥前侍従内

吉村謙吉

掛紙

相手方始末之儀ハ隊中耻辱レ不成様御所
置被為在候間其藩先鋒之儀ハ早々可有行
進事

○薩州より御届之寫

兵士

有吉庄之丞

湯地治右衛門

有馬早八郎

右者斥候之者共ニ而御座候處昨七日夕時分
根岸邊レ彰義隊之者八九人行逢候處
右三人レ取卷是非屯所江可連越段申聞候得
共相断候處直様切掛暫時相戦候由一人ハ其
場ニ而被切伏敵兩人打果六人手レ負レつ
由御座候得共猶追々多人數馳集候付無擾兩

人ハ切抜駒込千駄木町觀音堂前まで引取候
由候得共皆深手と負候上段々追重候付不
得止一人ハ切腹の一人之者も割腹可致之
處を早鋏炮を以被打伏候段探索方之者届申
出候付追而確證を得委細可申上候得共不取
敢申上置候以上

五月八日

薩摩藩

五月十二日

(○) 土州より御届之寫

會藩并江戸脱走之兵去月廿九日頃より大森
小百高畑高百辺江繰出し今市の北毘沙門山
ニ旗と建夜分ハ所々ニ簾を焚追々當駅ニ相
迫り候ニ付嚴々備く相待居候處當月六日賊
終ニ毘沙門山栄旧山等ニ兵と出し徒芹沼大
谷川と渡り朝五ツ時頃東の方杉林の中より
発炮追々宇津宮壬生両街道より進來付不
取敢三小隊と以當之游軍二小隊兩道ニ出助
之砲隊亦左之方より應之且山上之賊よりも
発炮候付大炮三四発打掛候處忽散乱仕候然

了小兩道之戰勝敗殊決此日別々弊藩人數從
宇津宮二小隊計當馭到着之筈付夾擊可仕
と存相待候得共存外、遅刻、付人數三十人
計間道より賊之背に出不意、襲來擊仕候處
遂に敗走折柄宮城より之人數叅會賊兵八方
に散乱仕候、付諸隊一里計追擊仕七ツ時頃
今市江引取申候討取分取等ハ別紙ニ相認差
出申候

五月

土州

板垣退助

覺

右討死

- 橋本順助
- 宮地元兵衛
- 谷本忠一郎
- 小野早太
- 高橋喜佐治
- 上田庄藏
- 三木壯之助
- 小松克馬

工日表三

右手負

田辺豪次郎
佐藤順吉
小松駒之助
西楠太郎
猪石栄太郎
宮地小十郎
森岡團右衛門
江口龜三郎
中島榮太郎

右者今五月六日戦争之砌討死手負如斯御座
候以上

馬取 死亡 京次

五月七日

土州

板垣退助

覺

仕付彈藥三千六拾計
小銃三拾五挺
大砲壹門

- 一 夕、ス拾七
- 一 刀九本
- 一 脇差十二本
- 一 金百兩三朱
- 一 白米一カマス
- 一 フラシケツト四枚
- 一 馬一匹
- 一 木砲一挺
- 一 生捕賊徒一人
- 一 討取同廿七人

但此外賊方江引取候手負死人不相分且
 麥畑林間溝中、斃居候者も可有之候
 得共夫々取調相調不申候付追而取調
 之上御達仕候

右者今五月六日野州今市駅、おむ戦争之
 節諸隊江討取分捕等右之通、御座候以上

辰 五月 土州 板垣退助

○五月六日於今市生捕候右嚮導加藤林三郎
 白狀之略

一 專ら今市と攻んとす今市、據り諸道と向
もんが為也

一 六日東の方へ向ひし兵ハ會兵并江戸兵獵人
等也

一 先達而日光より會藩江引取新ニ軍議を定め
再び出張と云

一 兵糧彈藥等ハ不絶會の本國より送ると云
會の國老山川大内藏江戸兵の不振と憤り會

一 疾の内命と請出張まると云
白川口、兵と分つ後ハ合市へ向ふ兵ハ凡千

五百人計

一 第一大隊長會今見太郎事宇城より引取白川
口、出る

一 軍奉行江戸大島某會織神某

一 大隊長加藤平内

一 總督會田中藏人江戸大島敬助

一 高德七聯隊出張隊長ハ原平太夫

一 碓藤原辺第三隊屯まると云

一 大隊司令ハ羽織、銀の筋四ツ有之と云

一 軍監會磯貝某

一砲隊差圖役會布瀨七郎

一第二大隊長沼新次郎

一今四月廿一日於今市被討取候内小隊長杉口

精一郎右嚮導^{きょうどう}平山弥三郎

一五月六日於同所被討取候小隊長中根量藏半
隊長會岸武之助

右之通

